

広島県歯科医師会主導の歯科医を対象とした肝炎対策普及活動体制の構築

研究分担者：加治屋 幹人 広島大学病院 口腔検査センター

研究要旨：近年、ウイルス性肝炎に対する予防・治療技術が劇的に改善している。そこで今後は、潜在的なウイルス性肝炎陽性者の肝臓専門医受検・受診機会を増加させることが本邦での効果的な肝炎対策の一つとなる。その具体的な方法の一つとして、他の医療機関の肝臓非専門医からのウイルス性肝炎患者紹介率を向上させることが挙げられる。特に、国民の84.4%に「かかりつけ歯科」があるという事実から、歯科医師は肝臓専門医への患者紹介率向上に有望な対象といえる。

これまでに、名古屋市立大学病院の井上らが、歯科医師への肝炎啓発活動を行うことで、歯科医師の肝炎患者紹介についてのモチベーションが向上する可能性を示していた。そこで本研究では、愛知県歯科医師会を中心とした活動成果を全国水平展開可能か検証することを目的とし、広島県歯科医師会中心の肝炎対策活動を行った。

広島県歯科医師会学術部が主体となり、各地区歯科医師会に対してウイルス性肝炎に関するアンケート調査を行った後に、肝炎対策活動についての講習会を実施した。R4年度までには、安佐・山県郡歯科医師会、竹原豊田歯科医師会、呉市歯科医師会、大竹市歯科医師会での講習会を実施した。そこで、本年度では、広島市歯科医師会、福山市歯科医師会、三次市歯科医師会での講習会を実施した。その後、講習会前後のアンケート調査を総括し、広島県内での、歯科医師会主導肝炎対策講習会の効果を検証した。

事前アンケート調査の結果から（回答率39%（285/731施設））、約79%（188/285施設）が歯科医院において、自院に肝炎患者が通院していることを把握していることが示された。しかし、肝臓専門医へ紹介することは少なかった（約6.7%（19/285））。一方、肝炎対策講習会直後のアンケート調査では（受講者145名）、講習会受講後には86.2%（125/145名）の歯科医師が、なるべく肝臓専門医に紹介しようともうという結果が得られた。

以上のことから、広島県に於いても、歯科医師会主導の肝炎対策講習会は、歯科医師のウイルス性肝炎患者の肝臓専門医への紹介意識を高めることが示された。今後は、肝炎対策講習会を定期的に継続することで、歯科医師のウイルス性肝炎に対する知識・意識を向上させることで、今回得られたモチベーションの変化を維持する必要がある。さらに、歯科領域からの肝炎コーディネーター資格取得者を増加させることで、歯科医師が、積極的に本邦の肝炎対策活動に参画するような体制構築を目指す。

A. 研究目的

近年、ウイルス性肝炎に対する予防・治療技術が飛躍的に向上している。C型肝炎ウイルス(HCV)を排除する直接作用型抗ウイルス剤が開発され、C型慢性肝炎は経口薬で確実に治療可能となっている。またB型肝炎ウイルス(HBV)感染予防については、B型肝炎ワクチン接種が簡便かつ有効である。したがって、これらからのウイルス性肝炎患者に

対する医療は、潜在的なウイルス性肝炎陽性者の肝臓専門医への受検・受診を促進することが重要となる。

そのウイルス性肝炎患者の肝臓専門医への受検率・受診率向上方法の一つとして、他医療機関の非肝臓専門医からの紹介が有効と考えられる。その中でも特に、国民の過半数は「かかりつけ歯科医院」があるという事実から、歯科領域は多数の潜在的ウイルス性

肝炎患者のスクリーニングに適しているといえる。すなわち、歯科医師の肝炎対策活動に対する意識・知識が高まり、肝臓専門医との連携体制が確立されれば、歯科領域からのウイルス性肝炎患者紹介率が向上し、効果的な肝炎対策医療となると期待できる。

その歯科医師の8割以上は、大学病院などに属すのではなく、自院を開業して地域の患者に対する歯科治療を行っている。すなわち、歯科医師は、最新の医療技術に関する情報を、学会や学術誌に加えて、歯科医師会の講習会から得るケースが多い。

この歯科の特性に着目し、研究分担者である名古屋市立大学病院(名市大)の井上らは、愛知県歯科医師会にはたらきかけ、歯科医師会主導のアンケート調査・肝炎対策講習会を中心とした啓発活動を行った。その結果、歯科医師会による肝炎対策講習会は、歯科医師による肝炎患者紹介率を向上させる可能性を見出した(井上貴子ら、肝臓、2021)。この成果が全国へ水平展開可能となれば、より効果的に歯科領域からのウイルス性肝炎患者受検率・受診率の向上につながると考えられた。

一方、広島県歯科医師会はこれまでに、糖尿病・歯周病と相互関係を見出し、効果的な医科歯科連携体制を構築した実績がある。つまり、内科医との連携実績のある広島県歯科医師会は、歯科領域における肝炎対策普及活動の検証に有効な環境を構築済みといえる。そこで本研究では、井上らの先行研究を基に、広島県歯科医師会主導の肝炎対策講習会を実施し、その有効性を検証することとした。

本報告書では、R4年度からR5年度までに、広島県全域で行った広島県歯科医師会主導の講習会と、その実施前・実施後のアンケート調査結果に基づき、その有効性を示すとともに、さらに効果的な歯科医師向け肝炎対策活動の方策を考察する。

B. 研究方法

1) 広島県各地区歯科医師会での肝炎対策講習会実施前アンケート調査

アンケート調査の対象は、安佐歯科医師会・山県郡歯科医師会、竹原豊田歯科医師会、呉市歯科医師会、大竹市歯科医師会、広島市歯科医師会、福山市歯科医師会、府中地区歯科医師会、三次市歯科医師会、安芸高田市歯科医師会、庄原市歯科医師会の地区に関連する歯科医院731施設とした。調査期間は、各地区での肝炎対策講習会開催の2ヵ月前からの1か月間(2021年12月~2023年12月)とした。

アンケートの配布ルートは、広島県歯科医師会学術部から各歯科医院へ、アンケートと肝炎対策講習会の目的を明記した添え状とともに、アンケート用紙を郵送した。さらに添え状には、web 回答も可能にするために、web アンケート用 QR コードも記載した。回答は、広島県歯科医師会学術部に返送もしくはweb での返信とした。添え状とアンケート調査票を(図1)に示す。

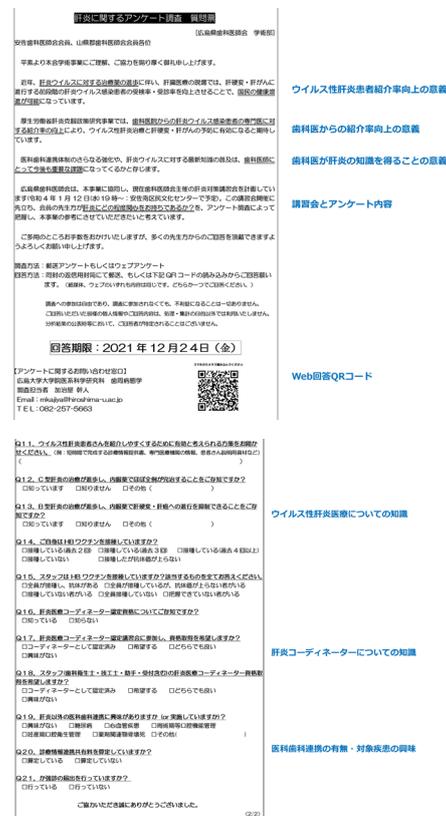


図1. アンケート添え状

肝炎対策講習会の意義とアンケート内容
 主な調査内容は以下のとおり。

- 初診時の問診表等で、肝疾患(肝炎)の既往について質問するか。
- ウイルス性肝炎の患者さんは何名程度、貴院に通院しているか。
- ウイルス性肝炎の患者さんを、紹介しているか。
- 診療情報連携共有料を算定しているか。

2) 広島県各地区歯科医師会での肝炎対策講習会実施と事後アンケート調査

上述の各地区歯科医師会で、肝臓専門医および歯科医師による肝炎対策講習会を実施した。講習内容は、肝炎医療の現状とウイルス性肝炎患者受検率・受診率の意義、および歯科医師がどのように肝炎対策活動に関わるかについて示した。また、標準予防策、直接作用型抗ウイルス剤、B型肝炎クチンに関する適切な情報も提示した。講習会を受講した歯科医師にアンケート用紙を配布し、その場で回答を得た。主な質問は以下のとおり。

- B型・C型肝炎について、講習会の内容をどれほど知っていたか。
- これまでに、HBs抗原陽性症例・HCV抗体陽性症例について、どのように対処していたか
- これから、HBs抗原陽性症例・HCV抗体陽性症例について、どのように対処しようと思うか。

C. 研究結果

1) 広島県各地区歯科医師会での肝炎対策講習会実施前アンケート調査

肝炎対策講習会事前アンケート送付数731施設中、回答数は285施設で、回答率は39%であった。アンケート調査の結果から、対象とした地区において、肝炎対策講習会の未受講者は約91.6%(24/261)であった。以下に、主な質問と回答を示す。

「問診または初診時の問診表で、肝疾患(肝炎)の既往について質問しますか?」の質

問に対して、92.3%(263/285)の施設が問診していると回答した。さらに、「ウイルス性肝炎患者さんは何名程度、貴院に通院していますか?」の質問に対して、285施設が回答した。数名50.2%(143/285)、10名程度14.0%(40/285)、10名以上15.6%(45/285)と、合計79.2%の歯科医院が肝炎患者の通院を把握していることがわかった(図2)。一方、「ウイルス性肝炎の患者さんを、紹介していますか?」の質問に対しては、肝臓専門医に紹介6.7%(19/285)、内科医に紹介28.1%(80/285)すると回答を得た。一方、紹介しないという回答は54.0%(154/285)となった(図3)。これらの結果から、広島県の歯科医師は、自院に肝炎患者が通院していることを把握しているにも関わらず、肝臓専門医への紹介率は低いことが示された。

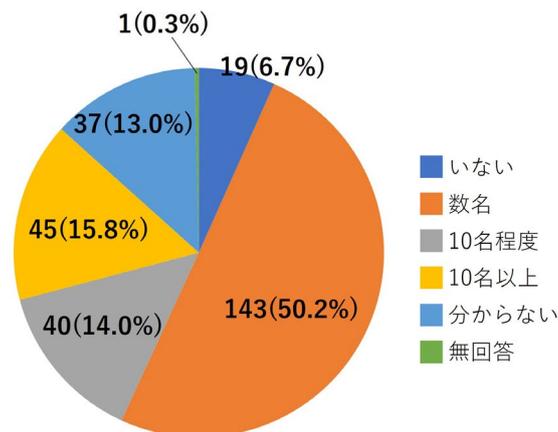


図2. 肝炎患者が何名通院しているか

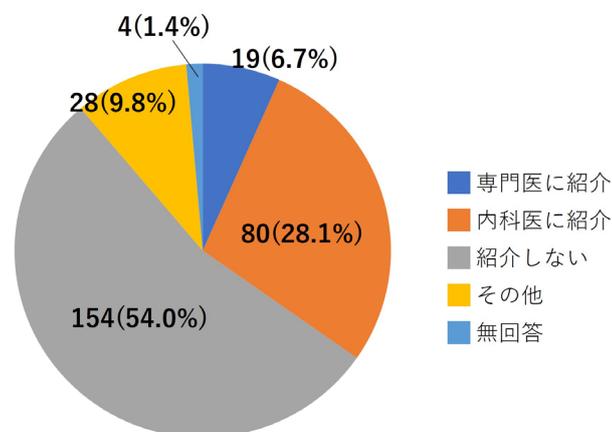


図3. 肝炎患者を肝臓専門医に紹介しているか

さらに、医科歯科連携の実施有無を把握するために、「診療情報連携共有料を算定していますか？」というアンケートを行ったところ、算定している 46.0%(131/285)となり、算定していないが 52.6%(150/285)となった。このことから、肝炎医療との連携は弱いものの、半数近くの歯科医院がその他の疾患に関する医科歯科連携の実績があることが示された(図4)。

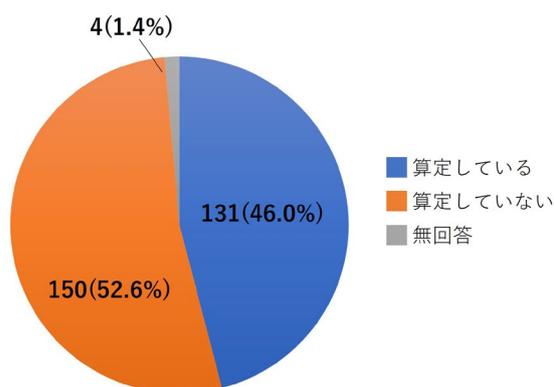


図4. 診療情報連携共有料算定(医科歯科連携体制)の有無

3) 広島県各地区歯科医師会での肝炎対策講習会実施と事後アンケート調査

各地区歯科医師会主導で肝炎医療の実態や、歯科の役割、もしくはワクチンや治療薬についての講習を実施直後に、受講した歯科医師(145名)からアンケートの回答を得た。

「B型肝炎について、今日の講演内容をご存知でしたか？」という質問に対して、少ししか知らなかった 69.7%(101/145)、全然知らなかった 11.7%(17/145)と回答を得た(図5左)。また「C型肝炎について、今日の講演内容をご存知でしたか？」という質問に対して、少ししか知らなかった 71.0%(103/145)、全然知らなかった 14.5%(21/145)と回答を得た(図5右)。このことは、歯科医師にとって肝炎ウイルスに関する情報が不足していることを示唆した。

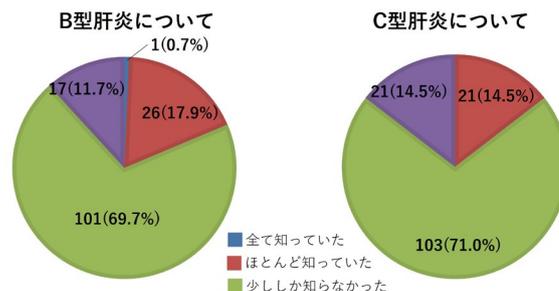


図5. HBV/HCVについて知っているか?

「今まで、HBs抗原陽性症例について、どのように対処しておられましたか？」と「これから、HBs抗原陽性症例について、どのように対処しようとおもわれますか？」という質問に対して、今まで大半の歯科医師は専門医に積極的に紹介していなかったのに対し 89.7%(130/145;図6左)、講習会受講後は全例専門医に紹介しようと思う 12.4%(18/145)、なるべく専門医に紹介しようと思う 84.1%(122/145)となった(図6右)。

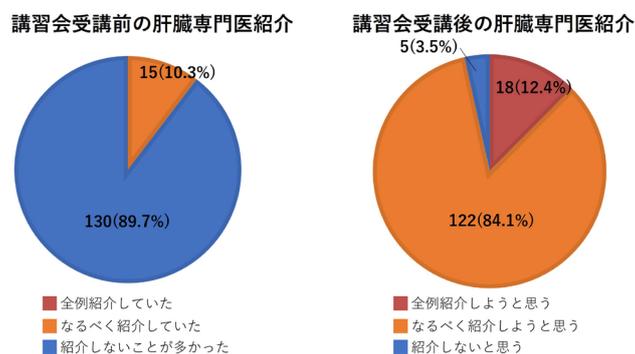


図6. 講習会受講前後でのHBV患者紹介意識

同様に、「今まで、HCV抗体陽性症例について、どのように対処しておられましたか？」と「これから、HCV抗体陽性症例について、どのように対処しようとおもわれますか？」という質問に対して、今まで専門医に紹介しないが多かったのに対し 87.6%(127/145;図7左)、講習会受講後は全例専門医に紹介しようと思う 10.3%(15/145)、なるべく専門医に紹介しようと思う 86.2%(125/145)となった(図7右)。

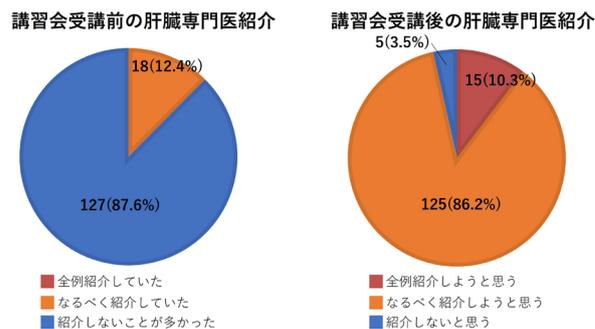


図 7. 講習会受講前後での HCV 患者紹介意識

以上の結果から、肝炎対策講習会を実施することで、歯科医師からのウイルス性肝炎患者の紹介率向上につながる可能性が示唆された。

D. 考察

広島県歯科医師会は 2022 年 3 月から肝炎対策事業を開始し、歯科医師の肝炎に関する知識と対応方法の向上を目指した。この取り組みには、歯科医師を対象としたアンケート調査と肝炎対策講習会が含まれ、その結果は医科との連携や肝炎患者への対応意識の向上に貢献した。調査からは、歯科医師の半数が既に医科と連携していることが明らかになったが、肝臓専門医との連携は依然として弱いことも示された。

肝炎対策講習会は、歯科医師の肝炎に対する知識と患者紹介の意欲を高めることに成功した。これは、愛知県歯科医師会の先行研究と一致し、歯科医師会が主導する肝炎対策講習会が全国的に普及する可能性があることを示唆している。肝炎対策を実施する理由としては、適切な肝炎医療の知識提供が、肝炎患者の適切な管理につながるという理解が深まったことが挙げられる。

しかし、講習会の効果は一時的なものに留まる可能性があり、定期的なアンケート調査と講習会の繰り返し実施が重要である。これにより、歯科医師の肝炎に対する知識と意識が経時的に向上し、肝炎対策の意義がさらに明確になることが期待される。また、歯科医

師会の肝炎対策普及活動は、地域包括ケアシステムにおける歯科診療所の役割強化に寄与し、今後の医療提供に貢献する可能性がある。

今後の肝炎対策普及活動には、肝炎医療コーディネーターの活用が重要であり、これは肝炎ウイルス検査の受検促進や患者の継続的な受療を支援するためのものである。歯科医師が肝炎医療コーディネーターとして活動することで、肝炎対策の普及と患者管理の向上に貢献できる。広島県歯科医師会による肝炎対策の継続と評価は、地域医療における歯科医師の役割を強化し、より良い医療提供への道を拓くと期待できる。

E. 結論

広島県の歯科医院の多くは、内科医との連携体制を有するものの、肝炎に関する知識に乏しく、肝臓専門医への紹介はあまり行われていなかった。しかし、歯科医師会主導の肝炎対策講習会で、適切な肝炎に関する知識を得た歯科医師は、肝炎対策医療に連携する意識が高まる可能性が示された。

今後、講習会を継続しつつ、啓発資材配布やコーディネーター養成などのアプローチを加えることで、歯科医師の肝炎に対する知識・意識を高め、より効果的な医科歯科連携肝炎対策体制の構築が可能になると考えられる。

F. 政策提言および実務活動

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

1. 加治屋幹人、井上貴子、本山智得、上川克己、山崎健次、是永匡紹 広島県歯科医師会主導の歯科医を対象としたウイルス性肝炎対策普及活動 広島県歯科医学会雑誌 2024(印刷中)

2. 学会発表

1. 加治屋幹人 広島県歯科医師会主導のウイルス性肝炎対策活動 第62回広島県歯科医学会(広島), 2023

3. その他

啓発資材

なし

啓発活動

1. 加治屋幹人：令和5年度ウイルス性肝炎講習会 ウイルス性肝炎の新たな展開と医科歯科連携に向けた取り組み
2023年8月23日 主催：福山市歯科医師会
2. 加治屋幹人：令和5年度ウイルス性肝炎講習会 ウイルス性肝炎の新たな展開と医科歯科連携に向けた取り組み
2024年1月6日
主催：三次市歯科医師会

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし